

日時：平成 29 年 1 月 12 日（木）19：05～20：30

場所：亀有地区センター 第 2 会議室

出席者：吉田、和賀井、中嶋、金杉、大淵、小暮、勅使河原、賀川、新美

（今回よりオブザーバー参加：議題 2 参照）篠塚、村松

計 11 名

作成者：事務局 新美

1. 総会の記念講演について

- ・土曜日は仕事の人も少なくないため日曜日の開催とする。候補日は 5/21（日）か 5/28（日）。
- ・一昨年はいずみホームケアクリニック・和泉武彦医師「在宅医療の現状と課題について」、昨年はあい権利擁護支援ネット・川崎理事「セルフグレクトについて考える」だった。
- ・テーマや講師については以下の 3 つのアイデアが出された。2 月の役員会で話を詰める。

①災害支援関係

区でどんな取り組みをしているか、会としてどんな立ち位置が取れるのか考える機会となったらよいのでは。講師の候補はボランティアセンターの佐藤さん（別紙 2 参照）や葛飾区防災課職員など。

②犯罪からの立ち直り関係（リーガル・ソーシャルワーク）

障害分野でも高齢分野でも普通にあることで他人事ではない問題。近年急成長の分野。講師については要検討。

③子ども食堂関係

「ねこのて」（低所得者の宿泊支援）の戸田由美子さんが子ども食堂をはじめている。代表者は戸田さんとは別の方。最近注目されている分野。

2. 成年後見部会より提案（和賀井さん、村松さん） 別紙 1 参照

- ・しばらく活動を休止していたが後見業務を行う会員が増え、昨年 10 月から活動再開。部会として会員のバックアップをしたい。
- ・部会長：和賀井さん、副部会長：篠塚さん、村松さん
- ・情報共有のために、副部会長である篠塚さんと村松さんが役員会にオブザーバー参加（議決権は無し）することを認めてほしい→承認。役員会のメーリングリストにも加入。
- ・ぱあとなあのメーリングリストによるマッチング方式は課題あり。成年後見部会が地域で受けていくための受け皿となれば。

3. 新規立ち上げ部会の提案① 災害支援部会（金杉さん、新美） 別紙 2・3 参照

- ・災害支援に関心があった金杉さんが災害ボランティア経験者の新美に声をかける形で部会立ち上げ提案に至る。
- ・講演会講師に名前をあげたボランティアセンターの佐藤さんは、金杉さんが昨年 10 月に受けた災害ボランティア養成講座の講師。豊富な災害支援経験に基づいた話が興味深い。

- ・そなエリア東京ツアーは無料コースと専属ガイド付きの有料コースがある。有料コースは30名までで15,500円。「東京直下72hツアー」で出されるクイズの答えの解説も聞けるので有料コースの方がよいか。1人500円～1000円程度の参加費を徴収する形で。

※部会立ち上げの承認は総会にて受ける。

4. 新規立ち上げ部会の提案② 障害者部会（吉田さん）

- ・吉田さん、大石さんで検討中。
- ・区内で活動する障害の団体として、例えば地域活動支援センターなどが精神障害分野の学習会をやったりしているが、他の団体と棲み分けしながら活動内容を考えていきたい。
- ・活動内容の方向性
 - ①葛飾区内の障害施設に勤務する社会福祉士に声をかける。
 - ②障害を持った本人や家族に対して何かできるように。
 - ③施設の運営管理で困っていること（例えば虐待対応、人材育成等）の相談に乗れるように。
- ・障害福祉課とのタイアップもできたらよいのでは。

※部会立ち上げの承認は総会にて受ける。

5. 朗報！公明党・民主党への陳情の成果について（和賀井さん、金杉さん、勅使河原さん）

昨年9月に区議会訪問で公明党・民主党に要望した、事業計画や審議会等の委員推薦枠の件で早速動きあり。

障害福祉課の大場さんより、障害支援区分認定審査会の委員を1名、かつしか社会福祉士会から推薦してほしいとの依頼あり。

月1回木曜日14:00から（1時間から1時間半）1回2万円の報酬。1合議体5名で構成。推薦基準については、区内の知的障害分野で働く人は避けてほしい（利益相反になるため）、障害分野に明るい人がよいとの話あり。来週、詳しい話を聞いてくる予定。

また、今月中に公明党・民主党にお礼の挨拶に行く予定。

6. 広報より提案（勅使河原さん）

- ・部会を手伝ってくれる人を組織化していきたい。役員だけで活動をまわすのは限界があるため、サポーター役（何かネーミングをつけるか）を組織化していく。
- ・部会活動は、定例会だけではつながれなかった人とも接点がつくれる可能性がある。
- ・例えば、来年度は総会の講演会テーマを災害支援にして、集まった人を災害支援部会に結集させる、その次の年は障害者をテーマにして、障害者部会に結集させる…というやり方も考えられるのではないかな。

7. 来年度の定例会についてのアイデア

①スピリチュアルケア 臨床仏教研究所・吉水岳彦さん（提案：村松さん）別紙4参照

スピリチュアルケアはホスピスなどで死に直面した人の心に寄り添うもの。ソーシャルワーカーよりもさらに踏み込んで積極的に関わり、魂の苦しみを和らげる。

望む死が迎えられる世界ランキングで日本は下位。死を迎える時の拠り所となる取り組みが求められている。

→7月・9月・11月定例会のいずれかでどうか。

②NPO レインボーリボン（提案：中嶋さん）

昨年の定例会でも紹介した青戸で子ども食堂をやっている団体。社会福祉士の人にぜひ知ってもらいたいとの話あり。講演会は難しいが定例会なら話してもらえそう。

※毎年徐々に、定例会の参加者が増えてきている。成年後見、高齢以外の分野でやった方がさらに参加者が広がるかもしれない。

※2月役員会までにさらにアイデアを考えてくる。

8. 来年度の会計について（小暮さん）

- ・今年度はベスト作成を見送った関係などで4万円から5万円が繰り越しとなる見込み。
- ・外部講師は1万円、内部講師は5千円（交通費込み）だが、すべて外部講師だと財政上厳しいかもしれないため計画的に進める必要あり。
- ・各部会活動にかかる費用について、会合に使う施設使用料とコピー代くらいは支出できる可能性あり。各部会で年間何回分の施設使用が必要か見積もる必要がある。金町地区センターや亀有地区センターの使用料は1回900円かかっている。
→部会費を別に徴収することは避けたい。部会では、施設使用料とコピー代以外の費用はなるべくかからないようにする方がよい。人数が多くなれば会合を部会員の職場で行うなど節約する方法も考えられる。
- ・東京社会福祉士会がロゴマークを決定したので（東京社会福祉士会ニュース新年号参照）、ベスト作成で取り入れることも検討してもよいのでは。

9. パルフェスタ参加について

- ・3/4（土）9：30～16：00頃まで（もう少し終わりは早くなる可能性あり）
- ・後見等福祉相談ということで参加依頼あり。
- ・相談者は少ないため、2人ペア×3交代＝6名いれば対応可（小暮さんは当日ウィメンズパルでの勤務があるため入れない）。

10. 1/19 定例会について（金杉さん）

成年後見制度利用促進法について少し触れた後、事例を1つか2つ取り上げながら進める予定。その後、質疑応答で30分取る。

11. 東京社会福祉士会から大量に送られてくる地区会宛のメールについて（金杉さん）

自分のところで止めていて役員に流していないことを了承したい。

→金杉さんの他、吉田さん、和賀井さん、大淵さんにも同じメールが来ている。その時の各自の判断で流した方がよいと思ったもののみ他の役員にも転送する。

12. 定例会等の広報媒体について（金杉さん）

東京社会福祉士会ニュースの発行頻度が年 10 回から年 6 回に減ったことに伴い、東京からは「会員向けの告知・報告・連絡を行う媒体のメインはホームページで」との協力依頼が出ている。東京とかつしかのホームページ、かつしかの Facebook で広報する。

次回役員会 平成 29 年 2 月 16 日（木）19：00～ 金町地区センター会議室